

講師名 鬼頭 寛之先生

## テーマ

審美歯科治療を成功させるためにラボサイドにてやるべきこと。

～コミュニケーションを含むトータルアプローチ～

## 講演内容

昨今、前歯部審美領域をオールセラミックレストレーションにて修復をするさい、患者の審美欲求も高くなり元々の天然歯同様の再現力や、もしくは術前と異なり患者が描く理想的な配列を求められることが臨床ではよく目にする。当ラボラトリーにおいてもそのような症例がけっして少なくはない。それらは咬合はもとより、個性的な形態付与・色調再現性・生体親和性これらを考慮したマテリアルセクションや設計を十分に考慮し、かつ円滑に成功に導くためにラボサイドにおいておさえておきたいポイントと私なりのルールがあると思う。

今回はこれらの要因を私の臨床例を使用してパート別に紹介する。けっしてこれらは難しいものではなく、考え方または製作方法を考慮することによって仕事の効率化にもつながると思いい提案をしたい